

# 施策編

私たちは「利用者の視点に立つ」という基本理念のもと、「安全で良質な水をいつまでも安定してお届けする」ための取組を進めてきました。

しかし今後は、私たちが利用者の視点に立つだけでなく、利用者の皆さまに、蛇口をひねれば安全で良質な水がいつでも出てくることを感じ、安心・満足していただくことを目指して、取組を次のステージへと進めて行きます。

そこで、今後10年間は「実感できる札幌水道」をキャッチフレーズに、利用者の皆さまに満足いただけるよう、職員が一丸となって取り組んでいきます。

この「実感」は、「じせだい（次世代）」「つながる」「かんきょう（環境）」の頭文字も表し、今後10年間の取組をキーワードとして表現しました。

◆ **じ**せだい（次世代）・・・50年、100年後の次の世代においても安定して水をお届けするために、水源の分散配置や水質の保全、施設の更新・改修、災害対策に取り組めます。また、それらに対応するために財源や技術力の確保に努めます。

◆ **つ**ながる（繋がる）・・・利用者、共に水道を支える民間企業や出資団体、教育・研究機関とのパートナーシップ、北海道の中心都市として水道事業を発展させる役割を果たすための他水道事業体とのパートナーシップにより、安定した事業運営に努めます。

◆ **かん**きょう（環境）・・・地形を有効利用した施設づくりなどによって大都市でもトップクラスの環境にやさしい水づくりを行っており、今後も「環境首都さっぽろ」として、さらなる環境負荷の低減に努めます。

## 第5章 今後10年間（平成27～36年度）の重点取組項目

札幌水道の今後の事業環境や現状と課題を踏まえ、今後10年間の重点取組項目を以下のとおり設定します。

### 重点取組項目1 水源の分散配置と水質の安全性の向上

将来にわたって事故や災害に強い水道システムを構築するため、水源の約98%を依存している豊平川の他にも安定した水源を確保します。また、安全で良質な水をいつでもお届けできるよう、水源の水質保全や水質管理・監視を継続するとともに、水質へのさまざまなリスクに適切に対応できる体制を徹底します。

### 重点取組項目2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化

水道システムの将来像を見据えた計画的で効率的な施設の更新や維持保全に取り組みます。また、事故や災害時にも被害を最小化し、水道水を安定して供給できるよう、施設の耐震化や危機管理体制の強化を進めます。

### 重点取組項目3 利用者とのコミュニケーションの充実

水道事業の経営を支えるオーナーである利用者との双方向のコミュニケーションを充実し、ニーズを的確にとらえるとともに、安全で良質な水をいつまでもお届けするために進めている水道局の取組を理解していただき、実感できる水道を目指します。

### 重点取組項目4 施設更新に向けた経営基盤の強化

施設の更新や耐震化に必要な財源を確保していくために、財務基盤を強化するとともに経営の効率化を進めていきます。また、これまでに作り上げてきた水道システムを将来にわたって持続していくために、次世代の水道技術者への技術の継承やパートナーシップの取組を進めていきます。

### 重点取組項目5 エネルギーの効率的な活用

低炭素社会と脱原発依存社会の実現を目指し、恵まれた札幌の地形を最大限に活用したエネルギー使用量の削減や再生可能エネルギーの活用を進め、環境負荷の低減に積極的に取り組みます。